

給与支払報告に係る給与所得者異動届出書 特別徴収

御注意

43 21 「宛名番号」の欄には、「宛名番号」の欄の枠内には、「1」と記入する。新しい勤務先において特別徴収の継続を希望する場合は、「異動後の未徴収税額の徴収方法」の枠内から四月三十日までの間に退職した者に未徴収税額がある場合は、受給者番号が必要で、特別徴収継続で新しい勤務先への受給者番号に不備がある場合は、当区で任意付番するか書面による通知となりますので、ご了承ください。

◎異動があった場合は、速やかに提出してください。

年度	1. 現年度	2. 新年度	3. 両年度
特別徴収義務者 指定番号			
宛名番号			
担連 当絡 者先	所属 氏名		
	電話	内線 ()	

令和 年 月 日提出		所在地	〒															
練馬区長 殿		フリガナ																
		氏名または名称																
		個人番号 または法人番号																
		←個人番号の記載に当たっては、左端を空欄とし右詰めで記載																
給 与 所 得 者	フリガナ				(ア) 特別徴収税額 (年税額)	(イ) 徴収済額	(ウ) 未徴収税額 (ア)-(イ)	異 動 年月日	異 動 の 事 由	異 動 後 の 未 徴 収 税 額 の 徴 収 方 法								
	氏 名																	
	生年月日	年 月 日																
	個人番号																	
	受給者番号																	
	1月1日 現在の住所																	
異動後の 住所																		
					円	円	円	年	月	日	1. 退 職 2. 転 職 3. 休 職 4. 死 亡 5. 支 払 少 額 6. 合 併 7. 解 散 8. そ の 他	1. 特別徴収継続 2. 一括徴収 3. 普通徴収 (本人納付)						

1. 特別徴収継続の場合										新しい勤務先へは、月割額 _____ 円を _____ 月分(翌月10日納入期限分)から 徴収し、納入するよう連絡済みです。							
新 し い 勤 務 先	特別徴収義務者 指 定 番 号	新規			法人番号												
	所 在 地	〒			担 当 者 連 絡 先	所 属 氏 名											
	フリガナ				電 話	内線 ()											
	氏名または名称										受給者番号			納入書の要否 (新規の場合のみ記載)	<input type="checkbox"/>	右から 番号を 記入	1. 必要 2. 不要

2. 一括徴収の場合										左記の一括徴収した税額は、 _____ 月分(翌月10日納入期限分)で 納入します。							
理 由	<input type="checkbox"/>	1. 異動が令和 年12月31日までで、一括徴収の申出があったため					徴収予定月日	徴収予定額 (上記(ウ)と同額)									
		2. 異動が令和 年1月1日以降で、特別徴収の継続の申出がないため					月 日	円									

3. 普通徴収の場合										※ 区 記 入 欄							
理 由	<input type="checkbox"/>	1. 異動が令和 年12月31日までで、一括徴収の申出がないため															
		2. 令和 年5月31日までに支払われるべき給与または退職手当等の額が未徴収税額(ウ)以下であるため															
		3. 死亡による退職であるため															

【提出先】 〒176-8501 練馬区豊玉北6丁目12番1号 練馬区 区民部 税務課

記載要領

1 給与支払報告に係る給与所得者異動届出書

この届出書は、区市町村長に提出した給与支払報告書に記載された者のうち特別徴収税額がない者で、4月1日現在において給与の支払を受けなくなった者がある場合に4月15日までに関係区市町村長に提出してください。

2 特別徴収に係る給与所得者異動届出書

この届出書は、給与の支払を受けている者で、特別徴収税額のある給与の支払を受けなくなった場合にその受けなくなった日の属する月の翌月の10日までに関係区市町村長に提出してください。ただし、4月2日から5月31日までの間に給与の支払を受けなくなった者の区市町村民税、都道府県民税および森林環境税をその年度から新たに特別徴収の方法によって徴収すべき区市町村長に対する届出書は、その区市町村長から特別徴収税額の通知があった日の属する月の翌月の10日までに提出してください。

3 「給与支払者（特別徴収義務者）」欄中の「個人番号または法人番号」欄には、給与支払者（特別徴収義務者）の個人番号（行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律第2条第5項に規定する個人番号をいう。以下同じ。）または法人番号（同条第16項に規定する法人番号をいう。）を記載してください。なお、個人番号を記載する場合には、左側を1文字空けて記載してください。

4 「給与支払者（特別徴収義務者）」欄中の「特別徴収義務者指定番号」欄には、届出書を提出する関係区市町村長により指定された特別徴収義務者指定番号を記載してください。

5 「給与支払者（特別徴収義務者）」欄中の「宛名番号」欄には、この届出書に記載した給与所得者について、その特別徴収税額の通知書に記載された宛名番号を記載してください。

6 「給与所得者」欄中の「個人番号」欄には、給与所得者の個人番号を記載してください。

7 「給与所得者」欄中の「受給者番号」欄には、この届出書に記載した給与所得者について、その特別徴収税額の通知書に記載された受給者番号を記載してください。

8 「異動後の住所」欄には、異動後の住所を記載してください。異動後の住所が不明なときは、給与の支払を受けなくなった当時の住所を記載してください。

9 「異動後の未徴収税額の徴収方法」欄は、つぎの要領により記載してください。

(1) 給与の支払を受けなくなった者が、新しい勤務先において特別徴収の継続を希望する場合には、枠内に「1」と番号を記入するとともに、「1. 特別徴収継続の場合」欄に必要事項を記載してください。

(2) 退職後令和9年5月31日までに支払われる給与または退職手当等から未徴収税額を一括徴収する場合には、枠内に「2」と番号を記入するとともに「2. 一括徴収の場合」欄に必要事項を記載してください。(注 令和9年1月1日から4月30日までの間に、退職等により給与の支払を受けなくなった場合には、本人から一括徴収の申出がなくとも必ず一括徴収しなければなりません。)

(3) (1)または(2)に該当しない場合には、枠内に「3」と番号を記入するとともに、「3. 普通徴収の場合」欄に、その理由を同欄に掲げているものから選び、該当する番号を枠内に記入してください。(注 同欄に掲げている理由に該当しない場合は、新しい勤務先において特別徴収の継続の申出がある場合を除き、特別徴収義務者は、必ず一括徴収しなければなりません。)

10 「1. 特別徴収継続の場合」欄中の「特別徴収義務者指定番号」欄には、届出書を提出する関係区市町村長により指定された特別徴収義務者指定番号を記載してください。これまでに同区市町村長から指定されたことがない場合にあっては、「新規」を○で囲んでください。

11 「1. 特別徴収継続の場合」欄中の「納入書の要否」欄には、「特別徴収義務者指定番号」欄の「新規」を○で囲んだ場合にのみ記載してください。

12 「2. 一括徴収の場合」欄中の「徴収予定月日」欄には、一括徴収の対象となる給与または退職手当等の支給月日を記載してください。

13 ※印の欄は、記載しないでください。